

第6学年 国語科学習指導案

公開授業Ⅰ 6年1組

公開授業Ⅱ 6年2組

児童 6年1組 計24名
 6年2組 計23名
 授業者 6年1組 武田 亮一
 6年2組 柳下 美智代

1. 単元名 複数の本や文章などを読み比べ、自分の考えを提案するためのリーフレットを作ろう
 教材名 「未来に生かす自然のエネルギー」(東京書籍 6年下)
2. 身につけさせたい力と単元を貫く言語活動の構想

単元を貫く言語活動

<児童の実態>

- 筆者の主張に対して、自分なりの根拠をもって賛成・反対の意見をもつことができる。
 - 新聞の投書の読み比べから、書き手が読み手を説得するための工夫について概ね理解している。
 - 文章の文末表現に着目して、事実や意見などの内容をとらえ、その関係に気をつけて読むようになってきている。
- △NRTの結果から、文章の要旨を読み取る力が全国平均を下回っている。
 △進んで読書をする児童が少なく、語彙力も不足している。
 △複数の本や資料を読み比べ、目的に応じて情報を取捨選択する力がついていない。

<身につけさせたい力>

- ・目的に応じて、文章の内容を的確におさえて要旨をとらえる力。
 (読むこと ウ)
- ・目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読む力。
 (読むこと カ)

<言語活動>

自分の考えや根拠をリーフレットにまとめるために、複数の本や文章を読むこと。
 (言語活動例 イ)

<既習事項>

- ・文章の構成を考えながら要旨をとらえること。
- ・筆者の主張を読み取り、それに対する自分の考えをもつこと。
- ・読み手を説得するための理由づけの仕方や根拠の挙げ方の工夫をとらえること。
- ・自分の根拠となる資料を見つけること。

<これからも指導していきたい力>

- ◇自分の考えを明確にして読む力。
- ◇進んで自分の考えや思いを言葉や文章で表現する力。
- ◇筆者の要旨をとらえる力。
- ◇複数の本や文章などを比べて読む力。

3. 単元について

(1) 言語活動の特徴とつきたい力との関係

本単元での言語活動は、再生可能エネルギーについて提案するため、自分の考えをもち、その根拠の整理にあたり複数の本や文章を読むことである。そして、複数の本や文章をどのように読み、自分の考えをもったかをリーフレットの形式にまとめさせることで見取っていく。

今回作成するリーフレットには、複数の本や文章などを編集して一つのメディアとして発信できるという特徴がある。また、伝えたい内容を一目で分かりやすく伝えられるよさがある。そこで、リーフレットの様式を学習教材の構成と同様の5つの項目（①現状②具体的な取り組み③課題④解決策⑤自分の考え）に設定し、自分の考えやその根拠が説得力をもって発信できるように構成させる。そして、一つのメディアとして情報発信することは、自分の主張の根拠を吟味することにつながり、複数の本や文章などを比べて読む活動を仕組むことに適切であると考えた。

(2) 指導にあたって

本単元は、文章の内容を的確におさえ要旨をとらえる力と複数の本や文章などを選んで比べて読む力を身につけることをねらいとする。そのために教材文を通して、自分の考えを主張するための論の展開の仕方や資料の効果的な使い方を学習していくこととする。子どもたちは調べ学習において様々な文章を読み、内容をまとめていく活動をすることが多いので、複数の本や文章を読んで、自分の考えを整理することも学習させる。

そこで、第一次の導入では、児童が主体的に取り組めるように、自分の経験からエネルギーについての体験をふりかえらせて興味関心を持つようにする。そして、これからの未来に向けて、それぞれが自分の考えを提案していこうと単元の学習の流れを設定する。その際、教師自作のリーフレットを提示し、自分の考えを相手に分かりやすくまとめ伝える方法として、リーフレットが有効であることに気づかせる。

第二次では、自分の考えをまとめ相手に伝える際に、論の展開の仕方を学ばせる必要から教材文の文章構成のよさに目を向けさせる。そこで、本論を読むことを通して、5つの項目（①現状②具体的な取り組み③課題④解決策⑤自分の考え）をとらえさせる。また、複数の本や文章などの提示の仕方を学び、そのよさに触れることで、説得力をもつリーフレットにするためには、資料等を活用して根拠を明確にすることが大切と気づかせる。学習の手引きとなるワークシートを使って、文章構成と資料の活用の仕方に着目させ、要旨とのつながりを捉えさせることで要旨を読み取る力を高め、リーフレットに活かすことができるようにする。

また、第二次では、主体的に学習に取り組ませるために、グループ学習を重点的に仕組んでいく。具体的には、第二次の2時間目と3時間目に構成のよさと資料のよさについてとらえさせるために小グループで活動する。そして、課題解決に向かって情報収集を行うための本や文章などの読書環境を整え、並行読書を位置づける。

第二次と第三次の終末には、ふり返りをさせ、言語活動の有用感を抱かせる場の設定をする。第三次において第二次の学習が役立ったと実感させることにより、身につけさせたい力に迫れると考える。

4. 単元の目標と評価規準

- ・自分の課題を解決したいという願いをもち、その課題解決のために複数の本や文章を比べて読み、情報を多面的に収集しようとする。 (国語への関心・意欲・態度)
- ・資料や具体例の示し方に注意しながら、筆者の要旨をつかむことができる。 (読むこと)
- ・自分の課題を解決するために、複数の本や文章など比べて読み、必要な情報を選ぶことができる。 (読むこと)
- ・説明的な文章における文章全体の構成を理解することができる。 (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

(評価規準)

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・自分の課題を解決したいという願いをもち、その課題解決のために複数の本や文章を比べて読み、情報を多面的に収集しようとしている。	・資料や具体例の示し方に注意しながら、筆者の要旨をとらえて読んでいる。 (ウ) ・自分の課題を解決するために複数の本や文章などを比べて読み、必要な情報を選んでいる。 (カ)	・説明的な文章における文章全体の構成を理解している。 (イ(キ))

5. 単元の指導計画（9時間）

次	時	主な学習活動	言語活動に関する留意点	評価規準 (評価方法)
第一次	1 (1組本時)	<ul style="list-style-type: none"> 身近な体験からエネルギー問題に対して関心をもつ。 単元のゴールを見通す。 	<ul style="list-style-type: none"> 災害などで、エネルギーについて困った体験をもとに、自分の生活と密接につながっているエネルギーの大切さを確かめ合う。 自分の考えを友達と提案し合うために、有効な手段としてリーフレットが適していることをとらえられるようにする。 モデルとなる、リーフレット（教師自作）を提示することで、単元のゴールを見通せるようにする。 	<p>【関】 エネルギー問題に関心を持って話している。 （ワークシートの記述及び発言）</p>
	1	<ul style="list-style-type: none"> これからの学習に見通しを持って、学習計画を立てる。 自分の課題をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> リーフレットを作るためにどのような学習計画で進めるか、単元全体の学習の見通しが持てるようにする。 自分がどんなことを調べていきたいか、課題をしばらく並行読書への取り組み方を確かめる。 	
第二次	1	<ul style="list-style-type: none"> 教材文「未来に生かす自然エネルギー」の文章構成と要旨をつかむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 序論、本論、結論をおさえ文章構成図を完成させ、おおまかな内容がとらえられるようにする。 	<p>【言】 説明的な文章における文章全体の構成を理解している。 （ワークシートの記述及び発言）</p> <p>【読】 資料や具体例の示し方に注意しながら、筆者の要旨をとらえて読んでいる。 （ワークシートの記述及び発言）</p>
	1	<ul style="list-style-type: none"> 教材文「未来に生かす自然エネルギー」から本論1の内容をつかむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 本論1の内容を読んで、「資料の示し方や具体例の挙げ方」と「文章構成の工夫」をとらえられるようにする。 	
	1 (2組本時)	<ul style="list-style-type: none"> 教材文「未来に生かす自然エネルギー」から本論2の内容をつかむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 本論2の内容を読んで、「資料の示し方や具体例の挙げ方」と「文章構成の工夫」を要旨と結びつけながらとらえられるようにする。 	
	1	<ul style="list-style-type: none"> 教材文の学習からリーフレットに生かすことを整理する。 自分の課題を見直し、リーフレットの内容の見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材文の構成のよさや資料の効果をリーフレットに活かせることを掲示やワークシートを通して確かめられるようにする。 自分の課題を見直させ、5つの項目に対しておおまかな読みの見通しを持つようにする。 	
第三次	2	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを主張するために必要な資料を比べて読み、整理する。 自分の主張をリーフレットにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の課題に対して複数の本や資料から情報を収集できるように読書環境を整える。 集めた情報から自分の考えにつながるものを選んでいけるように整理させる。 根拠として複数の資料や図などを用いて説得力が増すように工夫できるようにする。 掲示やファイルを活用することで第二次の学習で読み取った構成のよさ（①現状②具体的な取り組み③課題④解決策⑤自分の考え）を活かして書けるようにする。 	<p>【関】 必要な情報を得るために複数の本や資料で調べようとしている。 （ワークシートの記述及び発言）</p> <p>【読】 複数の本や資料から、自分の考えにつながることをおさえて読んでいる。 （ワークシートの記述及び発言）</p>
	1	<ul style="list-style-type: none"> グループで交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各自が作ったリーフレットをもとに、再生可能エネルギーについての提案を聞き合い、板書で整理することでお互いの考えの共通点等に気づけるようにする。 リーフレットを通しての提案方法をふり返ることによって、今後の学習に活かせるようにする。 	

公開授業 I 6年1組 本時

6. 本時の学習（1時間/9時間）

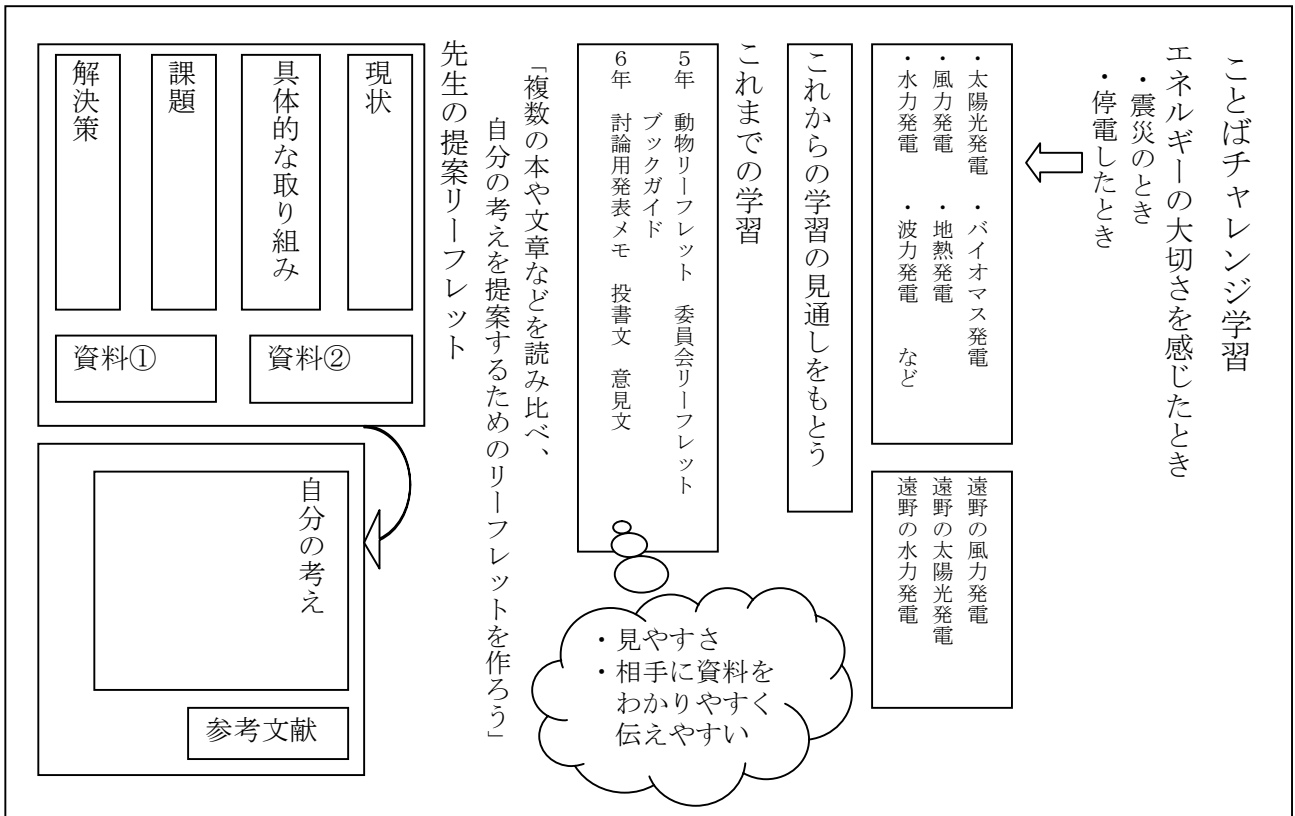
（1）目 標

エネルギーに関心を持ち、単元のゴールを見通すことができる。

（2）展 開

段階	活 動 内 容	・手立て及び留意点 ◇評価規準
導 入	1. 身近な体験からエネルギーの大切さについて交流する。 2. これからの生活に、どんなエネルギーが大切になってくるか交流する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ・太陽光発電 ・バイオマス発電 ・風力発電 ・地熱発電 ・水力発電 ・波力発電 など </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な体験（災害）からエネルギーの大切さを感じたことを話しあえるようにする。 ・停電した時のことなどを想起させて交流していく。 ・これからの生活で大切にしていきたいエネルギーについて自分たちの考えを出し合えるようにする。 ・遠野の風力発電、太陽光発電についての取り組みについての文章等を紹介し、児童が身近な問題としてとらえられるようにする。 ・自分たちで、エネルギーについてもっと調べて考えを交流したいという意欲を高める。 ◇エネルギーについて興味関心をもとうとしている。 ・興味関心をもてない児童には、事前に渡してあるテキストを見せて興味関心を高める。
展 開	3. 今日の学習課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> これからの学習の見通しを持とう。 </div> 4. 自分の考えを提案するのに適した方法を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分のリーフレットにどんな内容を書くか考える。 ・教師の作成したリーフレットを紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習は、これからの学習の見通しをもつ時間であるということを意識させるようにする。 ・自分の課題を伝える方法を考える手立てとして、5年生から今までの言語活動をふりかえり、自分の考えを友達に提案するのに適したのがリーフレットであることを確認する。 ◇リーフレットのよさをおさえ、今回の提案方法として適していることをとらえている。 ・リーフレットを作る構成要素をとらえさせる手だてとして既習の説明文や投書の学習の事をふり返らせる。 ・リーフレットの構成要素は大きく分けて、自分の考え、根拠、資料の3点にしぼることを確認する。 ・教師自作のリーフレットを提示し、単元のゴールの見通しをもたせる。
終 末	5. 単元の名前を作る。 6. 次時の確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・「複数の本や文章などを読み比べ、自分の考えを提案するためのリーフレットを作ろう」と単元名を設定する。 ・単元の学習計画を作っていくことを確認する。

7. 板書計画



公開授業Ⅱ 6年2組 本時

6. 本時の学習（5時間／9時間）

（1）目 標

本論2の構成をとらえ、資料の提示の仕方や具体例の挙げ方に着目して読むことができる。

（2）展 開

段階	活 動 内 容	・手立て及び留意点 ◇評価規準
導 入	1. 前時までの学習を想起する。 2. 学習課題を知る。 ・今日の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 本論2の内容を読み、リーフレットにまとめよう。 </div> 3. 学習の手順を見通す。	・学習計画に沿って単元における本時の位置づけを確かめ、学習課題を確認する。 ・前時の学習を振り返り、本時の学習は、本論2を自分達の力で学習を進めていくことを確認し、学習課題への意欲を持たせる。 ・一人で学習した後にグループで学習を進めることや大事な言葉だけを抜き出して、ワークシートを完成することを伝える。早く終わったグループは、資料の活用の仕方を考えておくことも知らせる。
展 開	4. 本論2を読み、ワークシートにまとめる。 (①現状 ②具体的な取り組み ③課題 ④解決策) ・一人で読んだ後、司会者が進行し自分達の考えを出し合う。 5. 発表し合う。 ・グループの代表が自分たちの書いた内容を発表し合い、話し合う。 ・資料の提示の仕方や具体例の挙げ方についてまとめる。	・本論2を読み、項目ごとにリーフレットにまとめさせる。 ・個人で文章を読み、サイドラインを引いた後に、グループで話し合わせる。 ・大事な言葉や文だけ書かせるようにする。 ・早く終わったグループは、資料の活用の仕方や意図について考えさせる。 ・作業が進んでいないグループには、大事な言葉や文に目を向けさせるよう支援する。 ◇大事な言葉にサイドラインを引き、話し合いに参加している。 ・グループで話し合ったことを発表し合い、整理していく。 ・段落の中の大事な言葉や文章を短くまとめる。 ・資料の提示の仕方や意図について考えさせ、説得力を増すための工夫であることをおさえる。 ◇グループで話し合ったことをもとに、本論2の内容の構成のよさを読んでいる。
終 末	6. 学習のまとめをする。 7. 次時の確認をする。	・自分のリーフレットに生かす構成要素についてとらえさせる。(論の構成・資料の提示の仕方など) ・次時は、自分の考えを書くことと、自分の課題を見直し、自分の文章構成の見通しを持つ時間であることを確認する。

7. 板書計画

